

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

当月の出荷量は前月比+5.3%、前年同月比+3%。売上高は前月比+7.7%、前年同月比+15.9%となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

売上は順調だが、原材料代、燃料代、運賃などの高騰が収益性を悪化させている。さらに人件費も上昇し負担が増加している。円安傾向が是正されない限り、業界の業績は良くなれないと思われる。

(繊維工業)

●繊維工業

一般財団法人広島県織物工業会

- ・この冬も暖冬予想となっているので冬物の売上が心配である。加えて、原材料価格の高騰が収益を圧迫している
- ・新製品に向けた取組、各展示会等が盛んに行われている

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

【全国】

- ・令和5年9月の全国新設住宅着工戸数は68,941戸で前年同月比▲6.8%、季節調整済年率換算値では800千戸(前月比▲1.5%)となった
- ・利用関係別では、持家は19,527戸で前年同月比▲12.3%、貸家は29,735戸で▲2.9%、分譲住宅は19,266戸で▲7.3%、また木造住宅は40,440戸で対前年同月比▲4.6%であった
- ・住宅着工動向の前年同月比は、持家の減少が22ヵ月連続となり、貸家の減少が2ヵ月連続、分譲住宅の減少が4ヵ月連続となった。木造住宅は昨年4月以降18ヵ月連続の減少となっており、今後の動向に注視していく必要がある。

【広島県】

- ・9月の住宅着工戸数は1,646戸で、対前年同月比+31.9%、うち持家は370戸で+0.8%、貸家は645戸で+5.7%、分譲は645戸で+123.6%であり、住宅着工戸数の前年同月比は大幅に増加したが、その要因は、木材使用が少ないマンションの増加によるものである
- ・木材価格は、円安等の影響により、スギ価格は低迷を続けているが、ヒノキは米国及びカナダから輸入される木材の代替材で使用される動きもあり、価格も堅調である
- ・木材需要の先行きは不透明な状況にあり、プレカット工場の稼働は9月半ば以降回復傾向であるものの、運賃、電気代、人件費等の上昇で採算の好転には至っていない

福山木材協同組合

着工数が増加したのも、楽観視できる状態ではない。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

半導体不足はほぼ解消されており、自動車業界関連の受注は増加傾向にある。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

現在の円安状況や、世界中を巻き込んでいる戦争が今後も継続することが予想されるため、引き続き原油、天然ガス、鉱物資源等の市況は上がり、原材料はますます高騰すると思われる。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

- ・出荷状況
- | | | |
|---------|----------------------|-------------|
| 令和5年10月 | 2,854 m ³ | (対前年比95.5%) |
| 令和5年09月 | 2,653 m ³ | |
| 令和4年10月 | 2,987 m ³ | |

- ・令和5年度想定数量

800,000m³

広島県西部砕石協同組合

昨年9月から開始した製品値上げ活動が奏功し、今年4月から売価アップはできたが、一方で燃料や部品・修理代等の諸資材の値上げによるコストアップを吸収するには至らず、収益は悪化した。

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼

靱鉄鋼協同組合連合会

- ・週1日の休業を行っている事業所有り
- ・インボイス制度が施行され、事務の負担が大きくなったと感じる

●一般機械

(一般機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合

売上は前月比▲4%、前年同月比は+52.3%となった。年ベースでは売上は昨年と同水準の着地予想。また、日工会が10月27日に発表した月間の工作機械受注実績は、前年同月比▲11.2%の1,339億4,200万円と9ヶ月連続で前年同月を下回った。内需では、自動車向けが9ヵ月ぶりに100億円を上回り、2023年で最高額となった。

(電気機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合 (電気機械器具)

売上は前月比▲10%、前年同月比▲20%となった。前年比は在庫調整と景気後退の影響により減少、次年度下期(来年10月以降)には若干回復する見通し。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具 (自動車)

東友会協同組合

マツダの生産は市場の国内・海外とも需要は多く、特に新型車(CX-60/CX-90)が好調で全体的に生産台数は順調に回復基調にある。

(10月度 自動車国内販売動向)

全需は398千台、前年同月比+10.7%と14ヶ月連続で増加。(登録車は+14.9%、軽自動車は+4.7%)、マツダ車は▲2.8%と僅かに減少しているがほぼ横ばい。マツダ車の内訳は、登録車▲6.9%(11.7千台)、軽自動車+16.2%(3.2千台)となった。

(9月度 自動車海外販売動向)

アメリカの全需は1,064千台で、前年同月比▲5.0%と14ヶ月振りに減少。マツダは+17.9%と、前年同月を11ヶ月連続で上回る結果となった。

欧州の全需は1,192台で、前年同月比+4.4%と13ヶ月連続で増加。マツダは+7.2と前年同月を10ヶ月連続で増加となった。

中国の全需は2,433千台で、前年同月比▲6.8%と2ヶ月連続で減少。マツダは+16.2%と30ヶ月振りに増加となった。

マツダの9月の海外販売は、欧米では増加傾向にあり、その他地域では一部の主要市場で苦戦は続いているが、合計台数は91.4千台、前年同月比+10.2%と増加となった。

(9月度 自動車輸出・生産動向)

マツダの輸出台数は、前年比+24.2%と回復。国内生産台数は、前年同月比+21.2%へ増加した。

●輸送用機械器具 (造船)

中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の令和5年9月の船舶建造許可実績は4隻、143,750総トンであった。なお、内訳は輸出船が4隻で、全て貨物船であった。

(一社)中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

(卸売業)

●卸売業 (総合)

協同組合広島総合卸センター

- ・工業向材料の卸売りについては前年比で、数量が伸長している反面、単価が下落するという、他の卸売り部門とは違った動きが見受けられる。特に一部の金属製品にこの傾向が顕著であり、前年より繁忙感が増しているものの、売上増加には至っていない
- ・自動車部品関連業界については、前年の半導体不足や操業停止の影響が和らぎ、売上・収支ともに改善基調にある。但し、コロナ禍以前の水準まで回復しておらず、自動車メーカーの好調ぶりに比べると格

差は歴然としている

- ・今年全国的に地価が上昇しているが、卸売地区においても不動産ニーズ（売買・賃借）が増加しているため、売買価格が上昇基調にある

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

4月～9月の上半期を終えて、大半の業者の売上高は前年対比5%～10%の伸びとなっている状況。

●卸売業（畳・敷物）

広島県畳製品商業協同組合

取扱高は、びんご特撰は4月からの累計で前年比87.1%、JAS畳表は79.1%と減少。例年10月以降、需要の増加により取引も活発化する傾向にあったが、今年は減少傾向にある。

（小売業）

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

- ・10月度の中央市場水産部の取扱高は単価上昇の要因が継続し、前年を若干上回る実績となるが、物量的にはコロナ禍以前の水準までには至らない状況が続く
- ・地球温暖化の影響と思われる魚の不漁や時期のずれなど、従来の販促スケジュールにそぐわない入荷状況により、新たな販促方法が必要になっている
- ・10月度中央市場青果部の取扱高は全般的な高値により売上が伸びているが、好天候により野菜が前倒し出荷となり、年末の冬物野菜の高騰が懸念される
- ・食品小売業者は水道光熱費、人手不足や最低賃金の上昇による人件費の増加分を価格転嫁できず、赤字等の要因となっている

協同組合三次ショッピングセンター

今年度も市内共通プレミアム付き商品券の発行や物価高対策としての商品券が市民へもが配布され、また地域行事も昨年以上に再開されて売上客数共に前年並みを維持している。

新店舗が完成し各組合員がオープンに向け内装工事を行っている。11月のオープンによる売上増加、収益改善を期待している。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

令和5年10月度販売実績88%（前年同月比）。AV商品86%、白物商品100%、薄型テレビ87%（内有機EL90%）、DVD84%、冷蔵庫109%、洗濯機94%、IHクッキングヒーター85%、エコキュート89%、エアコン116%、炊飯器103%、電子レンジ84%、掃除機88%。

家電商品が普及し新規需要が望めないため買替中心の需要。使用年数が伸びてきており、家電商品のみで経営が成り立たない事業者が増えてきている。今後、IoTを活用したスマート家電の需要をどこまで拾い上げられるかが重要になる。

●その他小売業（燃料）

広島県石油商業組合

新たな紛争に加え、歴史的な円安により、更に原油価格の見通しが立たない状況が続いている。冬場の灯油シーズンに備え、原油価格を注視していく必要がある。

（商店街）

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

- ・10月は呉市内で1日（日）の「入船山秋祭り」を皮切りに、7日・8日の「亀山神社例大祭」、14日・15日の「呉ご当地キャラ祭り」、22日の「呉グルメフェスタ」など大きなイベントが次々と開催され、多くの市民が参加して大盛況のうちに終了した。さらに、11月5日には「くれ食の祭典」が開催される予定で、コロナの影響で、縮小や休止になったイベントが復活している。ただし、これらが中央地区の商店街の継続的な活性化には結びついていないのが、課題である
- ・本通2丁目に新築された賃貸マンション（1LDKの65戸）が完成し、入居募集が始まっている。近隣には別に同規模の賃貸マンションが2棟（いずれも40戸程度）完成している。賃料は管理費込みで64,000円とやや割高感があり、需要があるのかどうか疑問視されていたが、地元の不動産業者によれば独自の自衛隊員の入居が見込めるのではないかと話であった

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比+1.4%、前年比▲3.2%

- ・車検場収入は、前月比+3.5%、前年比▲2.3%
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比+16%、前年比▲7.5%

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

当月は稼働したが、その分ひと段落した様子であり、今後下降すると思われる。

●情報サービス

一般社団法人広島県情報産業協会

電子部品の入手難ほぼ解消されたが、半導体設備業界の持ち直しの動きが鈍いと感じる。

(建設業)

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計について、当月は前月比+46.3%、前年同月比+40.9%となった。商業施設のリニューアル案件が多かったことが主な増加要因。

福山地区電気工事業協同組合

官庁関係からの大幅な受注増加により、当月分の受付件数は、1,408件で前年同月比338%となった。

神辺建設業協同組合

売上が回復傾向にある。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

- ・10月の売上高は前月比減少、前年同月比増加
- ・軽油価格は中東情勢から原油が高騰したが、政府が補助金を拡充したため値下げとなった

松永地区トラック事業協同組合

- ・10月の売上高は、対前月で変化はなく、対前年同月では減少した
- ・今月だけに限らず、7月頃から継続して荷動きが悪い。荷主から往復の輸送依頼は稀で、ほとんどが往路または復路の輸送依頼。したがって、往復の運賃補償はなく、最近では空車で回送することもある

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高齢化が進み船員不足である
- ・若年船員が育たない
- ・運賃や用船料の改善がみられない

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・前月比は9月に一般鑑定の仕事が多く、その報酬が10月に入金されたため、売上、収益状況、資金繰りが好転している。前年同月比についても、昨年より一般鑑定の仕事が増えたため、好転。しかし、今年度は固定資産評価の公的評価作業が無い分、総収入は減少する見込み
- ・不動産市場については、材料費の高騰や人手不足で、戸建住宅、共同住宅の建築等が減少しているが、マンション販売については、新築マンションが増加。中古マンションについては依然として販売価格が高値で推移している